

三島圏域がん地域連携クリティカルパス

『子宮頸部上皮内がん術後経過観察』

「子宮頸部上皮内がん術後連携パス」にご協力いただける先生へ

1. 対象患者

子宮頸部上皮内癌術後連携パスの対象患者様は、原則として以下のすべてを満たす方としています。

- ・子宮頸部上皮内がん
- ・告知済
- ・術後1ヶ月検診で異常なし

2. 診療していただく時期

退院後より次回当科受診日まで週2回のペースで膣洗浄をよろしくお願いいたします。

初年度は3か月毎、次年度は半年毎、その翌年度からは1年毎を基本としています。

2年目の受診から、特に問題がなければ連携医療機関だけの受診で構いません。

3. かかりつけ医の先生への紹介確認

患者様から「連携パス」導入の同意が得られれば、医療連携室から連携医療機関に、

子宮頸部上皮内がん術後連携パス（医療機関用）と診療情報提供書をFAXさせていただきます。

予約が必要な場合は、後日患者様より電話連絡していただくよう指示いたしますので、お知らせください。

4. かかりつけ医の先生の初回とその後の診療時

初回診療時には、患者様に以下のものを持参していただきます。

- ・子宮頸部異形成上皮術後地域連携パス（患者様用）
- ・その他の資料一式

毎回診療時には、内診、子宮頸部細胞診、必要に応じて経膣超音波検査をお願いします。

また、患者様には自己チェックで気になることや日常の健康管理で気になることがあれば、

かかりつけ医の先生に相談するよう伝えておりますので、よろしくお願いいたします。

5. 大阪医科大学附属病院受診の前に

当科での予定外受診時には、直接診療科外来に電話をし、腫瘍外来予約（月、水、金）をお取りください。

診療情報提供書または地域がん診療連携情報提供書兼がん治療連携指導報告書を記載していただき、

患者様にお渡しして持参するよう説明をしてください。

6. バリエーションと対処法

子宮頸部細胞診異常時、あるいは月経モリミナ、頸管閉鎖など内診、経膣超音波検査上での異常が疑われる時、診療科外来に直接電話をし、腫瘍外来予約（月、水、金）をお取りください。

7. その他

- ・投薬については、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしております。
- ・投薬間隔はかかりつけ医の先生のご判断でお願いします。
- ・子宮頸部上皮内がん術後経過観察パスでのフォローは、5年間といたします。
その後の受診は、かかりつけ医の判断といたします。
- ・定期受診日以外でも必要があれば大阪医科大学附属病院の受診を患者様に案内してください。

8. お問い合わせ先

大阪医科大学附属病院 産婦人科 （電話：072-683-1221、内線：2340）